



サービス パラメータの設定

Cisco Unified Presence のサービス パラメータを使用すると、選択したサーバでさまざまなサービスを設定できます。[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウで疑問符 (?) ボタンをクリックすると、パラメータのリストと説明を表示できます。特定のパラメータをクリックすると、そのパラメータを含むリストが先頭に表示されます。

Cisco Unified サービスアビリティを使用してサービスを無効にすると、Cisco Unified Presence で更新後のサービス パラメータ値が維持されます。サービスを再開すると、Cisco Unified Presence によりサービス パラメータが変更後の値に設定されます。

開始する前に

手順を進める前に、次の前提条件が満たされていることを確認してください。

- サーバが設定されている。詳細については、[P.2-1](#) の「サーバの設定」を参照してください。
- サーバでサービスが使用可能である。[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウに、使用可能なサービス (アクティブおよび非アクティブ) がすべて表示されます。



注意

サービス パラメータの一部を変更すると、システム障害を引き起こす場合があります。変更しようとしている機能を完全に理解している場合、または Cisco Technical Assistance Center (TAC) から変更の指定があった場合を除き、サービス パラメータを変更しないことをお勧めします。

サービス パラメータを設定または表示するには、次のトピックを参照してください。

- [サーバのサービスに対するサービス パラメータの設定 \(P.3-2\)](#)
- [サービス パラメータの表示 \(P.3-4\)](#)

サーバのサービスに対するサービスパラメータの設定

特定のサーバのサービスに対するサービスパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [システム] > [サービスパラメータ] の順にクリックします。

ステップ 2 [サーバ (Server)] ドロップダウン リスト ボックスからサーバを選択します。

ステップ 3 [サービス (Service)] ドロップダウン リスト ボックスから、更新するパラメータを含むサービスを選択します。



(注) [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウに、サービス (アクティブおよび非アクティブ) がすべて表示されます。

[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 適切なパラメータ値を更新します。このサービスのインスタンスのサービスパラメータをすべてデフォルトの値に設定するには、[デフォルトに設定] ボタンをクリックします。



(注) Cisco IP Phone Messenger が正しく動作するためには、Cisco UP SIP プロキシサービスの HTTP Port パラメータ値は、関連付けられている Cisco Unified Communications Manager の Phone Service パラメータに一致する必要があります。

パラメータのリストと説明を表示するには、疑問符のボタンをクリックします (図 3-1 を参照)。特定のパラメータを持つリストを上部に表示するには、[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウでそのパラメータをクリックします。

図 3-1 [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウ

サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)

ステータス (Status)
ステータス: 使用可

サーバとサービスを選択 (Select Server and Services)
サーバ (Server)*: brown (Active)
サービス (Service)*: Cisco UP Presence Engine (Active)
Clusterwideグループにあるパラメータ以外のすべてのパラメータが適用されるのは現在のサーバのみです。

Cisco UP Presence Engine (Active) サーバ上のパラメータ (Parameters on server) brown (Active)

パラメータ名 (Parameter Name)	パラメータ値 (Parameter Value)	推奨値 (Suggested Value)
Presence Engine Configuration		
Enterprise Presence Server Contact Name		
Microsoft Exchange Notification Port *	50020	50020
Clusterwide Parameters (Parameters that apply to all servers)		
Enterprise Presence Server Recovery State *	True	True
Enterprise Presence Server Cluster Messaging Port *	50000	50000

ページが表示されました



(注)

一部のサービスには、ほとんど変更されることのないサービスパラメータが含まれています。Cisco Unified Presence の管理ページでは、[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウにアクセスしたとき、これらのパラメータは自動的に表示されません。すべてのパラメータを表示するには、[詳細設定] をクリックします。すべてのパラメータが表示されてから [簡易設定] をクリックすると、基本パラメータを再表示できます。[詳細設定] ボタンが無効な場合、デフォルトでそのサービスのパラメータがすべて表示されます。

ステップ 5 [保存] をクリックします。

ウィンドウが更新され、ユーザが行った変更により、Cisco Unified Presence でサービスパラメータが更新されます。

追加情報

P.3-5 の「関連項目」を参照してください。

サービスパラメータの表示

クラスタ内のすべてのサーバで特定のサービスに属するサービスパラメータをすべて比較することが必要な場合があります。また、非同期のパラメータ（サーバ間で値が異なるサービスパラメータ）または提示された値から変更されているパラメータだけを表示することが必要な場合もあります。

クラスタ内のすべてのサーバで、特定のサービスに対するサービスパラメータを表示するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [システム] > [サービスパラメータ] の順にクリックします。

ステップ 2 [サーバ (Server)] ドロップダウン リスト ボックスからサーバを選択します。

ステップ 3 [サービス (Service)] ドロップダウン リスト ボックスから、クラスタ内のすべてのサーバでサービスパラメータを表示するサービスを選択します。



(注) [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウに、サービス（アクティブおよび非アクティブ）がすべて表示されます。

ステップ 4 [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウが表示されたら、[関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスの [すべてのサーバに対するパラメータ] を選択して、[移動] をクリックします。

[すべてのサーバに対するパラメータ] ウィンドウが表示されます。現在のサービスについて、リストにすべてのパラメータがアルファベット順に表示されます。各パラメータで、推奨される値がパラメータ名の隣に表示されます。各パラメータ名の下に、そのパラメータを含むサーバのリストが表示されます。各サーバ名の隣に、このサーバのパラメータの現在値が表示されます。

所定のパラメータで、サーバ名または現在のパラメータ値をクリックし、対応するサービスパラメータのウィンドウへリンクし、値を変更します。[前へ] および [次へ] をクリックすると、[すべてのサーバに対するパラメータ] ウィンドウ間を移動できます。

ステップ 5 非同期のサービスパラメータを表示する必要がある場合、[関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスの [すべてのサーバに対する同期外れパラメータ] を選択してから [移動] をクリックします。

[すべてのサーバに対する同期外れパラメータ] ウィンドウが表示されます。現在のサービスについて、サーバによって異なる値を持つサービスパラメータがアルファベット順で表示されます。各パラメータで、推奨される値がパラメータ名の隣に表示されます。各パラメータ名の下に、そのパラメータを含むサーバのリストが表示されます。各サーバ名の隣に、このサーバのパラメータの現在値が表示されます。

所定のパラメータで、サーバ名または現在のパラメータ値をクリックし、対応するサービスパラメータのウィンドウへリンクし、値を変更します。[前へ] および [次へ] をクリックすると、[すべてのサーバに対する同期外れパラメータ] ウィンドウ間を移動できます。

ステップ 6 提示された値から変更されているサービスパラメータを表示する必要がある場合、[\[関連リンク\]](#) ドロップダウンリストボックスの [\[すべてのサーバに対する変更済パラメータ\]](#) を選択してから [\[移動\]](#) をクリックします。

[\[すべてのサーバに対する変更済パラメータ\]](#) ウィンドウが表示されます。現在のサービスについて、提示された値と異なる値を持つサービスパラメータがアルファベット順で表示されます。各パラメータで、推奨される値がパラメータ名の隣に表示されます。各パラメータ名の下に、提示された値と異なる値を持つサーバのリストが表示されます。各サーバ名の隣に、このサーバのパラメータの現在値が表示されます。

所定のパラメータで、サーバ名または現在のパラメータ値をクリックし、対応するサービスパラメータのウィンドウへリンクし、値を変更します。[\[前へ\]](#) および [\[次へ\]](#) をクリックすると、[\[すべてのサーバに対する変更済パラメータ\]](#) ウィンドウ間を移動できます。

追加情報

[P.3-5](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [サービスパラメータの表示 \(P.3-4\)](#)
- [サーバのサービスに対するサービスパラメータの設定 \(P.3-2\)](#)

